

大学院 学生証・資料等配布

総合科学研究科

総合文化学専攻

日時： 4月7日(金) 13:00～15:00

場所： 学生センターA棟1階 3番窓口

専攻のオリエンテーションは行いませんので、HP掲載資料及び上記配布資料を確認してください。



令和5年度総合文化学専攻新入生の4月行事予定

学務部学務課

4月7日(金) 13:00~15:00

総合文化学専攻新入生向け資料配布 【場所】学生センターA棟1階 3番窓口

4月11日(火)~13日(木)

履修申告 アイアシスタント(<https://ia2.iwate-u.ac.jp>)で行います

アイアシスタントに表示されない科目(他プログラム科目等)の履修申告

他プログラム科目、他専攻科目、学部科目は、アイアシスタントからは履修申告できません。

「履修科目届(大学院用)【OCR用紙】」(学生センター3番窓口で配布)に記入のうえ、学生センターA棟学生控室の提出ボックスに提出してください。

注意) 他プログラム科目、他専攻科目、学部科目の履修は、指導教員と授業担当教員の了承が必要です。

また、大学院学生便覧で科目の対象年次を確認してから申請してください。

4月14日(金)

主任指導教員連絡票提出 17:00 まで

学生センターA棟学生控室の提出ボックスに提出してください。

4月15日(土)~4月21日(金)

履修申告確認・訂正 アイアシスタントで13時以降に行ってください

履修申告した科目が正しく登録されているか必ず確認してください。

訂正したい場合はこの期間に手続きしてください。期間後に履修申告を訂正することはできません。

(アイアシスタントで履修申告した科目のみ修正可能です。)

4月17日(月)

授業開始

履修を予定する授業に出席してください。

健康診断について: 詳細は事前配付物の「健康診断用封筒」を参照してください。

住所届: メールアカウント取得後に、アイアシスタントの住所届メニューから登録してください。

住所届は緊急時等の連絡に必要ですので、必ず登録をお願いします。

行事予定は変更になる可能性があります。

このほかにも随時、掲示でお知らせしますので掲示板チェックは忘れずに!

総合文化学専攻 学務関係の注意事項について

大学院生便覧（総合科学研究科） 電子版

大学院生便覧には、大学院修了に必要な手続き等が書かれていますので、総合文化学専攻のページは、必ず読んでください。

URL : https://www.iwate-u.ac.jp/target/ns/A2_1.pdf

下記については特に重要ですので、必ず目を通しておいてください。

P12 「1．岩手大学大学院総合科学研究科規則」

…この規則が基本となります。

P40 「10．岩手大学大学院総合科学研究科総合文化学専攻規則」

第16条 総合文化学専攻の修了要件は、2年以上在学し、授業科目について33単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上で、修士論文の審査及び試験に合格することとする。

2 前項の規定に定める修了要件を満たした者に修士の学位を授与する。

* 修得すべき単位の内訳は50ページ以降の「12．岩手大学大学院総合科学研究科総合文化学専攻履修要項」でご確認ください。

P49 「11．岩手大学大学院総合科学研究科総合文化学専攻学位論文審査基準」

P50 「12．岩手大学大学院総合科学研究科総合文化学専攻履修要項」

・修了に必要な単位数などが定められています。

・『4．修得科目・単位数』:

必修の科目などが記載されていますので、履修申告前に必ず確認してください。

・『6．履修申告』:

4月行事予定の資料に記載のあるとおり申告してください。

授業科目はウェブ上（アイアシスタント 後述）で申告します。

・『8．学位論文等』（～10まで）:

修士論文等の提出方法について記載があります。時期になれば随時掲示でお知らせしますが、事前に確認しておいてください。

・『11．教育職員免許』:

取得可能な教員免許状の種類と教科については、大学院学則（P5）に記載されています。

・第1種免許状をすでに取得している場合に限り、同一免許教科の大学院科目24単位を修得することで専修免許を取得することができます。専修免許の取得を希望する方は、4月21日（金）までに学生センター3番窓口に応じ出てください。

時間割について

時間割は前期分を添付しています。赤い4桁の文字は、申告用の時間割コードです。後期以降はア

アイアシスタントでのデータ配布（PDF）のみとなります。

アイアシスタントの利用について

アイアシスタントとは、岩手大学独自の学習支援システムです。アイアシスタントは、履修申告機能だけでなく、シラバスの閲覧、休講情報や大学からのお知らせの確認ができます。

アイアシスタントを利用するには、「ユーザーアカウント」が必要です。

本日お渡しした情報基盤センターの資料でアカウントとパスワードをご確認ください。

住所登録

アイアシスタントで履修申告する際、住所等連絡先の登録もあわせてお願いします。この登録がされていないと、大学からの重要な連絡が届かないなどの不都合が生じる可能性がありますので、正確な情報を登録してください。

掲示板

学生センター B 棟東側に中央掲示板があり、授業の休講や各種お知らせ（授業料免除申請、奨学金募集等）を掲示しています。また、アイアシスタントでも掲示板と同様のお知らせをしますので、掲示板とアイアシスタントは常に確認するようにしてください。

学生証

学生証は常に携帯し、他人に貸す等は絶対にしないでください。学生証は各種証明書の発行や図書館への入館、建物の休日・夜間入館（管理者に要申請）にも使用します。

また、学生証を使って証明書自動発行機から学割証や在学証明書・成績証明書等が取得できます。（発行機は学生センター A 棟、理工学部にあります。利用可能時間は平日の 8:30～17:30 まで。）

* 初期の暗証番号：生年月日の月日 4 桁

例：4 月 8 日生まれの場合「0408」

各自、発行機で暗証番号を変更してください。

カードに不具合がある場合は、学生センター 1 番窓口にご相談してください。

院生室

院生室の場所や使用方法是、上級生や指導教員に聞いて確認してください。院生室の鍵等を借りたい場合は、主指導教員が人文社会科学部教員の場合は人文社会科学部 1 号館 1 階の学部事務室へ、主指導教員が教育学部教員の場合は主指導教員へお尋ねください。鍵は修了時に返却していただきます。

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）：総合文化学専攻

（情報分析力・語学力・コミュニケーション力等の汎用的能力）

- 多様な価値観を持つ人々と理解し合うために必要なコミュニケーション能力を修得している。

（研究成果の発表等）

- 言語・文化・芸術・歴史の諸課題を探究し、研究成果を発信する能力を有している。

（社会への貢献）

- 文化に関する知識と理解を媒体にして、グローバル化する地域及び世界の諸課題に積極的に取り組もうとする姿勢と能力を有している。

（専門分野の基礎的な知識）

- 地域及び世界の諸課題を総合的・俯瞰的な視野のもとで理解することができる能力を修得している。
- 文化の保存・継承・理解・発信に関する専門的な知識を修得している。

（専門分野の応用的な知識）

- 専門分野に関する深い知識と論理的思考能力及び表現能力を修得している。

（専門性に基ついた問題解決能力）

- 各プログラムに特有の問題を理解・探究・分析・解決できる能力を有している。

（日本文化理解プログラム）

日本語・日本文化を理解し、指導的な立場で日本文化を発信できる能力を修得している。

（グローバル文化発信プログラム）

英米、ヨーロッパ、アジア圏の言語と文化を理解し、グローバルな視野と言語運用能力を通して、地域と世界を結びつけることができる能力を修得している。

（アート発信プログラム）

地域に根差した芸術を継承・創造・発信することができる能力と技能を修得している。

（地域文化リノベーションプログラム）

日本と世界の歴史を深く理解し、地域の文化遺産の保存・活用に寄与することができる能力を修得している。

（文化多様性理解プログラム）

文化の多様性を理解し、多様な考えを持つ人と協働して、多文化共生社会の実現に寄与できる能力を修得している。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）：総合文化学専攻

（情報分析力・語学力・コミュニケーション力等の汎用的能力）

- 多様な価値観を持つ人々と理解し合うために必要なコミュニケーション能力を修得させるために、専攻共通科目として「総合文化学基礎」を配置し、さらに全てのプログラムの中に「グローバル課題解決型研修」を配置している。

（研究成果の発表等）

- 学生が見出した研究テーマについて研究指導する「特別研究」を必修科目として配置している。特別研究論文の提出後に論文要旨を学内のリポジトリで発信している。主任指導教員の指導のもと、特別研究に係る研究論文をリポジトリで発表することができる。修士論文発表会を開催し、研究成果を公表している。

（社会への貢献）

- 言語、文化、芸術、歴史に関する知識と理解を媒体にして、グローバル化する地域及び世界の諸課題に積極的に取り組むことができる姿勢と能力を修得させるために、専攻共通科目として「文化マネジメント論」を配置している。

（専門分野の基礎的な知識）

- 地域及び世界の諸課題を総合的・俯瞰的な視野のもとで理解することができる能力を修得させるために、専攻共通科目を編成し、さらに各プログラムにおいてコアになる科目（必修）を配置している。
- 文化の保存・継承・理解・発信に関する専門的な知識を修得させるために、専攻共通科目の中に「岩手文化理解論」、「岩手文化発信論」を配置している。「岩手文化理解論」は地域の文化的コンテンツを理解するための授業として配置している。「岩手文化発信論」はグローバル化する世界の中で岩手の文化を発信することの意義と方法を学修するための授業として配置している。

（専門分野の応用的な知識）

- 専門分野に関する深い知識と論理的思考能力及び表現能力を修得させるために、全てのプログラムの中に各専門領域にかかる「特論」科目を配置している。

（専門性に基づいた問題解決能力）

- 各専門領域の課題を見つけ、解決する能力を身につけさせるべく、展開科目として「特別演習科目」「研究特別演習科目」「応用特別演習科目」を配置するとともに、研究者としてそれぞれの専門性に基づく問題の解決を図り、その成果を公表すべく、「特別研究」を課している。

令和5年度総合文化学専攻新入生
主任指導教員連絡票

学籍番号 _____

氏 名 _____

プログラム _____

主任指導教員氏名	
----------	--

提出期限：令和5年4月14日（金）17：00

提出場所：学生センターA棟学生控室のレポートBOX